



Chateau Lafite Rothschild

1868年、ジェームス ド ロートシルト男爵は、現シャトー ラフィット ロートシルトの所有権を獲得します。以来これまで5世代、同シャトーはロートシルト家の経営下に置かれています。14世紀には、中世の領地名としてラフィットの名前が登場します。18世紀初頭には、ラフィットのワインは既にロンドンでも販売されており、イギリス首相ロバート ウォルポールからの愛顧を受けます。フランスにおいては早くから「王のワイン」と評され、リシュリュー元帥はヴェルサイユ宮廷でラフィットを振る舞い、名声は高まります。1855年、パリ万国博覧会を機会に発表されたグラン クリュ格付により、シャトー ラフィット ロートシルトのワインは「最高級ワインのリーダー的存在」との公式評価を獲得しています。

全110ヘクタールのブドウ畑は以下3つのゾーンから成ります。シャトーを囲む丘陵畑、西のカリュアド台地、そしてサンテステフ地区内の一區画（4.5ヘクタール）。ブドウが植えられている表層部は、風積土と細かい礫が混ざり合って深い層を形成しており、下層部は第三紀の石灰質。十分な排水処理と日光照射が得られています。ブドウ品種は、カベルネ ソーヴィニヨン（70%）、メルロ（28%）、カベルネ フラン（3%）、プティ ヴェルド（1%）です。グラン ヴァンに使用されるブドウ樹の平均樹齢は45年。「ラ グラヴィエール」と呼ばれる最高樹齢の区画は、1886年に植樹されています。



Domaines Barons de Rothschild (Lafite) - 40-50 Cours du Medoc, 33300 Bordeaux

Tel. +33 5 57 57 79 79 - dbr@lafite.com

www.lafite.com

